

観光局の会費は？

町長 活性化の柱で必要



岩井美保子 議員

【岩井】予算の説明によれば、歳入財源の確保が厳しい状況であるが、大山観光局への会費は必要か。

【町長】自立を促進するため、県の観光連盟でも同様の方式を行っている。

【岩井】脳ドック受診の対象者を70歳で区別した理由は。早期に定員に達したが、対応は。

【町長】対象者は今年度50歳、55歳、60歳70歳の1200人に



大山観光局が入る大山情報館

通知した。定員50人を120人に追加した。不愉快な思いをさせたことをお詫びする。

【岩井】指定管理者が規程の使用料以外を請求した。不適格だ。

【教育委員会】名和トレンセンの農産加工室で、使用料以外の収受があったことは事実。

料金返還の指示をし、嚴重注意をした。その他の管理では評価をしている。



足立敏雄 議員

防災対策は？

町長 それぞれ進めている

【足立】東日本大震災から一年が経過する。地震、津波、原発事故それぞれの災害の対策は。

【町長】地震対策では、自主防災組織の強化に取り組んでいる。

津波対策は、沿岸部の防災無線子局の増設や、津波浸水を示したハザードマップを作成する。

原発事故対策は、西部の市町村で構成する鳥取県西部地区地域振興協議会で、

安全・安心のための要望書の提出をしている。

また、鳥取県西部町村原子力防災の検討会や、原子力災害時の避難計画の検討を進めている。

県が設置するモニタリングポストを、役場大山支所に設置するほか、サーベイメーターを購入し、小中学校、保育所などで定期的に放射線量を測定している。



災害に備えた防災訓練